























業種別景況予測

平成25年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「円安により国内回帰と言うが、国内での仕入れ価格は上がっているため、依然として流れは輸入品である」「円安による原料輸入価格の上昇や電力料金の値上げ等によりコストアップとなっているが価格転嫁は難しく先行き不安」「副産品がないため、売上に苦労している」とのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「アベノミクス効果は年末～春に現れてくると予測し、それに備えて経営方針を立てるべき」「毎年売上が減少している」「損益分岐点を上回る売上が続かない。市場は沈滞のまま」とのコメントが寄せられた。			
工業			「契約電力を下げる見直しをし、デマンド契約にした」「一進一退ではあるものの全体として底打ちした状況では」とのコメントが寄せられた。			
建設			徐々にではあるが動き出した様子。しかし、仕入の高騰により薄利の状態である。「消費税転嫁は出来るはずがない。節電・省エネもすでに実施しているため、これ以上は難しい」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「消費税増税の後、景気が悪化して物流にも多少影響があるのでは」「特に変化はない。現状維持が一番重要」「一昨年より節電・省エネは実施しているので、それ以上は厳しい」「燃料費の高騰は運賃に反映。客の減少につながりかねない」「庫腹は一杯であるが、荷動きがあまり良くない」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「自身の取り巻く状況を絶えず直視しながら経営を行っている」「保険会社も代理店の合併を推進しているため(10%前後売上の伸ばさないと前年と同じ手数料にはならない)小さな代理店はやっていけない」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「アベノミクス効果が中小企業に来るまで、まだまだかかるのでは。あるいは来ないかも」とのコメントが寄せられた。			
サービス業			大阪府景気観測調査によると、前期比較で府内の飲食業・宿泊業で-14pt、大阪市内-11ptに対し、泉州地域は仕入値の上昇等により-77ptと大阪中心部はやや持ち直してきているが、当地域までは波及していない状態である。「夏場は少し売上上昇すると少しは期待する。泉州の少しでも早い景気回復を期待」「業務内容を何度も改善し社員の協力のもと、社内一丸となって事務所を守っている」とのコメントが寄せられた。			
付帯調査	消費税転嫁	増税による影響があると回答した事業所68%に対し、転嫁対策をとっているのは38%にとどまり、26年4月以降の対策が懸念される。				
	電力値上	値上げによる影響があると回答した事業所68%に対し、節電・省エネ対策している事業所は66%という結果となった。				

(調査概要) ●調査実施 平成25年7月 ●調査対象企業 256社 ●回答数 113社
 寝装リビング 14社 工業 16社 運輸倉庫 14社 一般商業 13社
 繊維ファッション 16社 建設 14社 金融理財 16社 サービス商業 10社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111